

## 長崎県初記録のヤベカワモチ(ドロアワモチ科) *Onchidium* sp.2

川内野 善 治<sup>1)</sup>

First Record of *Onchidium* sp.2 in Nagasaki Prefecture

Yoshiharu KAWACHINO<sup>1)</sup>

確認日：2010年6月6日

確認場所：雲仙市国見町神代丙 神代川河口  
(4930 22 41)

個体数：20個体

体長(匍匐状態)：65mm~90mm

確認状況：大潮で潮が引いた直後の河口付近で、  
日陰の岩や泥が付着した岩上を這っ  
ていた(図1)。



図1 ヤベカワモチ

本種は有明海や八代海などの九州沿岸域や朝鮮半島に分布するとされる大型種で、最初に有明海に注ぐ矢部川の河口で発見されたのでこの名がある。

ドロアワモチ *Onchidium* sp.1やセンベアワモチ *Platyvindex* sp.2よりも大型になり、背面は全体に黒く斑紋がなく頭部も黒っぽい。

センベアワモチと同所で見られるので生息環境はほぼ同じと考えられる。

糞は大型(図2)で概ね長辺が15mm、短辺が



図2 ヤベカワモチの糞

5mm、厚さ3mmである。干潮後時間が経過すると乾燥を避ける為に岩の隙間やカニの巣穴に入り込んでしまう。個体が見られなくとも糞が確認出来れば生息の証となる。

その後、以下の様に調査を継続している。

2010年6月12日10個体、2012年6月5日4個体、2012年7月5日6個体、2014年6月12日0個体であった。確認個体数が徐々に減少し2014年は確認出来なかった。

付近では希少種のウスコミミガイ *Laemodonta exaratooides* Kawabe, オカミミガイ *Ellobium chinense* (Pfeiffer), クリイロコミミガイ *Laemodonta siamensis* (Morelet), ナラビオカミミガイ *Auriculastra duplicata* (Pfeiffer), クチバガイ *Coecella chinensis* Deshayes, ヘナタリ *Cerithidea* (*Cerithideopsis*) *cingulata* (Gmelin), フトヘナタリ *Cerithidea izophorarum* A. Adams,

<sup>1)</sup>〒859 6405 長崎県佐世保市世知原町開作427 5

ウミニナ *Batillaria zonalis* (Bruguère), ヒラド  
カワザンショウ *Assimineea hiradoensis* Habe, セ  
ンベイヤワモチ *Platevindex* sp., ヒロクチカノ  
コ *Neritina (Dostia) cornucopia* (Benson) が確  
認されるなど, 良い環境が残されている。しか  
し, 中園信行氏の記録(私信)によるアズキカ  
ワザンショウ *Pseudomphala miyazakii* (Habe)  
シマヘナタリ *Cerithidea ornata* (Sowerby II) は  
確認できなかった。

諫早湾が締め切られた後湾外の特に島原半島  
の環境が大きく変化しており, 非常に気がり  
である。

また, 本種の生息地は河川改修等により容易  
に破壊されてしまうので, 注意が必要である。

## 謝 辞

本種の同定をして頂いた, 岡山大学福田宏准  
教授に深く感謝致します。

## 文 献

- 佐藤正典 編 2000. 有明海の生き物たち. (株)  
海游舎  
福田宏 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑91pp.  
日本ベントス学会. 東海大学出版会